

**令和4年度  
一般社団法人北中城村観光協会  
事業計画**

## ■ 第2創業期とミッション

令和3年度総会から会長となった**島田 勝也**代表理事のもと、北中城村観光協会は**2021年～2023年のフェーズ**を「**第2創業期**」と位置付け、理事も職員も十分にディスカッションを重ね、**新たなミッションステートメント（経営方針）**を打ち出しました。

これを基盤とした上で、ミッションと事業の関係性を整理・精査し、令和4年度の事業計画案を制作しました。

### Mission 使命

観光を通じた  
地域の発展

職員の幸せ

### Vision 将来像

親しまれ、頼られ、一目置かれる  
日本一の観光協会

### Values&Strategies 価値基準と戦略

ウェルネス（健幸）

サステイナブル（持続可能）

マーケティング（戦略構築）

DX（デジタルの活用）

シェア&コラボレーション  
（連携）

# 一般社団法人北中城村観光協会 重要業績評価指標（KPI） について

## 基本的な考え方と経緯

2021年度（令和3年度）～2023年度（令和5年度）までの**重要業績評価指標（KPI）**を示し、経営側（理事会）と執行役側（事務局）が取り交わす目標であり約束であり、2021年12月の理事会にて承認された。

## ○重要業績評価指標（KPI）について

基本的には**ミッションステートメント**を**基本方針**とし、収益事業についても、**マーケティングをしっかりと行った上で**、**ウェルネス、サスティナブル、DX、シェア&コラボレーション**に関する収益事業企画を立案、実施していく。

特に**ウェルネス**については、北中城村観光振興基本計画にある『豊かな時間を過ごせる「**健幸度世界一のむら**」北中城村の実現』の**健幸=ウェルネス**と定義し、観光産業の側面からウェルネス産業の振興を図る。

それらの推進・実現には**公共的視点**を持ちつつ、**ユニークな事業展開**が必要であり、そのためには**地域の理解、自主財源確保**、多様な役割を担える**人材の確保・育成**が必要となる。

そのために、**第2創業期**として、**KPIを設定**し、より明確に**ミッションステートメントの実現**に向けて推進体制を強固にしていく。具体的には以下の4つの項目を設定した。

- 1, 資金面の目標と約束
- 2, 自主事業売上増の目標と約束
- 3, プレゼンス向上・貢献度の目標と約束
- 4, 観光地域づくり法人（DMO）登録



# 1. 資金面の目標と約束

安定経営・キャッシュフローの観点から**1000万円**と、将来的なDMC（地域商社）設立や自主企画による収益事業のための**初期投資予算**として**1500万円**。

**合計2500万円**を確保し、初期投資予算については、増減しながら運用していく。

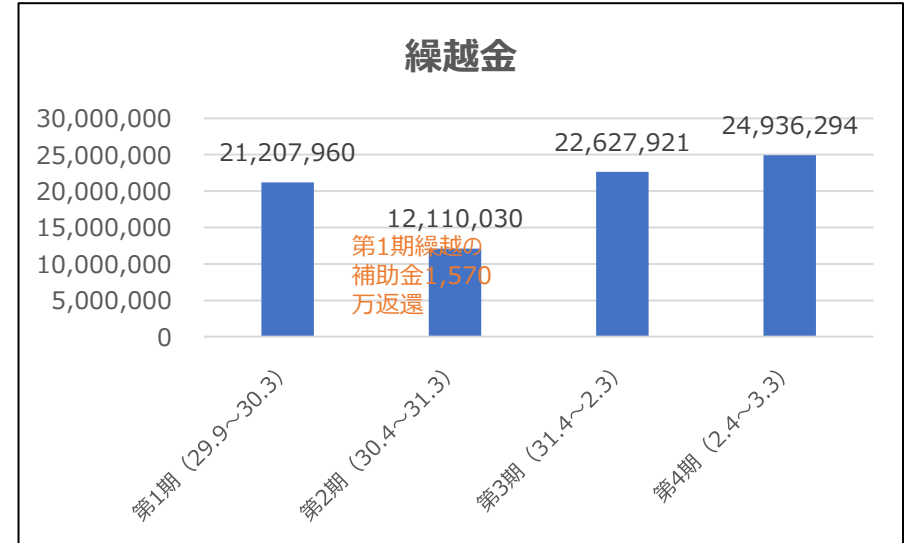
## ○2021年度（令和3年度・5期）

前期、第4期（R2.4～R3.3）の決算繰越金は**2490万円程度**であった。

第5期（R3.4～R4.3）本年度当初予算では**マイナス330万円の赤字見込**だったが、**純利10万円以上の黒字へ転換**させる。

## ○2022年度（令和4年度・6期）及び2023年度（令和5年度・7期）以降

**投資時期まで2500万円から減じない**ようにする。



## 2-1. 自主事業売上増の目標と約束

観光協会の2期～4期の自主事業等収入（補助金、一括交付金事業、会費を除く。詳細次項）は売上金額ベースで最も低かったのが**第3期1,136万円**。最も高かったのが**第2期1,587万円**になっている。5期以降は以下の売上金額とパーセンテージを目標とする。

### ○2021年度（令和3年度・5期）

自主事業等収入・売上金額：**1,700万円（収入21%）**

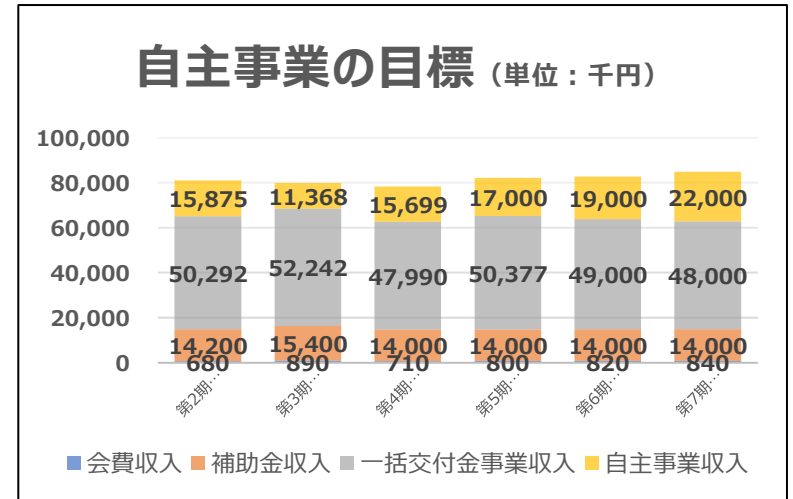
### ○2022年度（令和4年度・6期）

自主事業等収入・売上金額：**1,700万円（収入21%）**

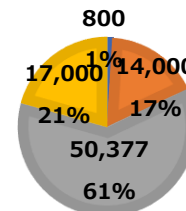
※**地域おこし協力隊（500万）終了**  
**きたぽ閉店（300万）のため**

### ○2023年度（令和5年度・7期）

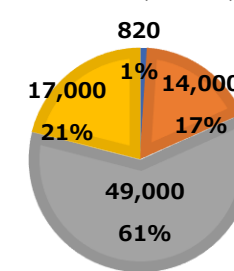
自主事業等収入・売上金額：**1,900万円（収入23%）**



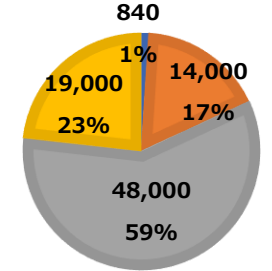
### 第5期（目標）



### 第6期（目標）



### 第7期（目標）



■ 会費収入 ■ 補助金収入  
 ■ 一括交付金事業収入 ■ 自主事業収入

## 2-2. 自主事業売上増の目標と約束

### R3年度の主な自主事業と今後の方向性

#### ■ 拡大

ふるさと納税返礼品商品開発、スタジオ運営・撮影配信、各種受託事業（R3は保健医療福祉事業団受託、南城市観光協会事業受託）

#### ■ 継続

プレミアム商品券取扱、広報誌配布、キーホルダー制作販売

#### ■ 廃止

地域おこし協力隊管理（協力隊卒業・新規採用予定なしのため）、きたぽ委託販売（閉店のため）

#### ■ 新規

YouTube番組企画制作、オンラインショップ（オンライン版きたぽ）、WEBサイト広告（PVアップ後）、卸売業（生分解ストロー、低環境負荷アメニティ等）

### 3. プレゼンス向上・貢献度の目標と約束

地域としてのブランド価値を向上させる。

#### (1) 観光客と観光収入

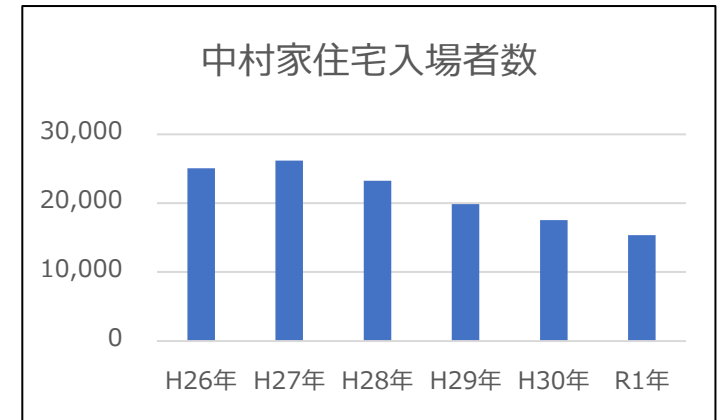
- ・ 中城城跡入場者数
  - ・ 中村家住宅利用者数
  - ・ 村内宿泊施設宿泊数
- 等

#### (2) マスメディア、ネットマーケティング

- ・ マスメディア（新聞等）露出件数
  - ・ WEBサイトPV数、YouTubeチャンネル登録数、FBイイね数
  - Twitterフォロワー数、Instagramフォロワー数
- 等

#### (3) ステークホルダーからの評価

年に1回、会員向けに「観光協会の通信簿」として評価アンケートを依頼し、その結果を指標とする。






## 4. 観光地域づくり法人 (DMO) 登録

2022年（令和4年度）、観光地域づくり法人（DMO）として、観光庁に登録する。

なお現在、令和4年度一括交付金に向け役場と調整中であり、マーケティング人材の雇用とマーケティングに係る予算も計上している。

DMOになる事で、観光庁を始めとした**関係省庁による各種支援メニューの提供**や総合的なアドバイス等を受けることができます。

つまり、国と直接やりとりする形での、今までの村からの受託事業だけでは困難だった新たな取組を増やす事が出来ます。

観光地域づくり法人 (DMO) 登録の5要件 			
<b>(1) 観光地域づくり法人(DMO)を中心として観光地域づくりを行うことについての多様な関係者の合意形成</b> <span style="float: right;">いずれが1項目</span>			
観光地域づくり法人の意思決定に関与できる立場で行政や幅広い分野の関係団体の代表者が参画	観光地域づくり法人内に行政や関係団体をメンバーとする委員会等を設置		
<b>(2) データの継続的な収集、戦略の策定、KPIの設定・PDCAサイクルの確立</b> <span style="float: right;">全項目必須</span>			
各種データ等の継続的な収集・分析	データに基づく明確なコンセプトを持った戦略の策定	KPIの設定・PDCAサイクルの確立 ※ 観光消費額、延べ宿泊者数、満足度、リピーター率の4項目は必須。	
<b>(3) 関係者が実施する観光関連事業と戦略の整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション</b> <span style="float: right;">全項目必須</span>			
地域社会とのコミュニケーション・地域の観光関連事業者への業務支援を通じた多様な関係者との戦略の共有 (例) 観光地域づくりに関する定期ミーティングの開催等	地域が観光客に提供するサービスを、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築 (例) 地域の「食」を提供する仕組み等	地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション (例) ワンストップ窓口の設置、ターゲット別のプロモーション方針の作成等	
<b>(4) DMOの組織</b> <span style="float: right;">全項目必須</span>			
法人格の取得	意思決定の仕組みの構築 (責任を負う者の明確化)	データ収集・分析等の専門人材が DMO専従で最低一名存在	財務責任者の設置
<b>(5) 安定的な運営資金の確保</b>			
自律的・継続的に活動するための安定的な運営資金の確保の見通し (例) 収益事業(物販、着地型旅行商品の造成・販売等)、特定財源(法定外目的税、分担金)、行政からの補助金・委託事業等			

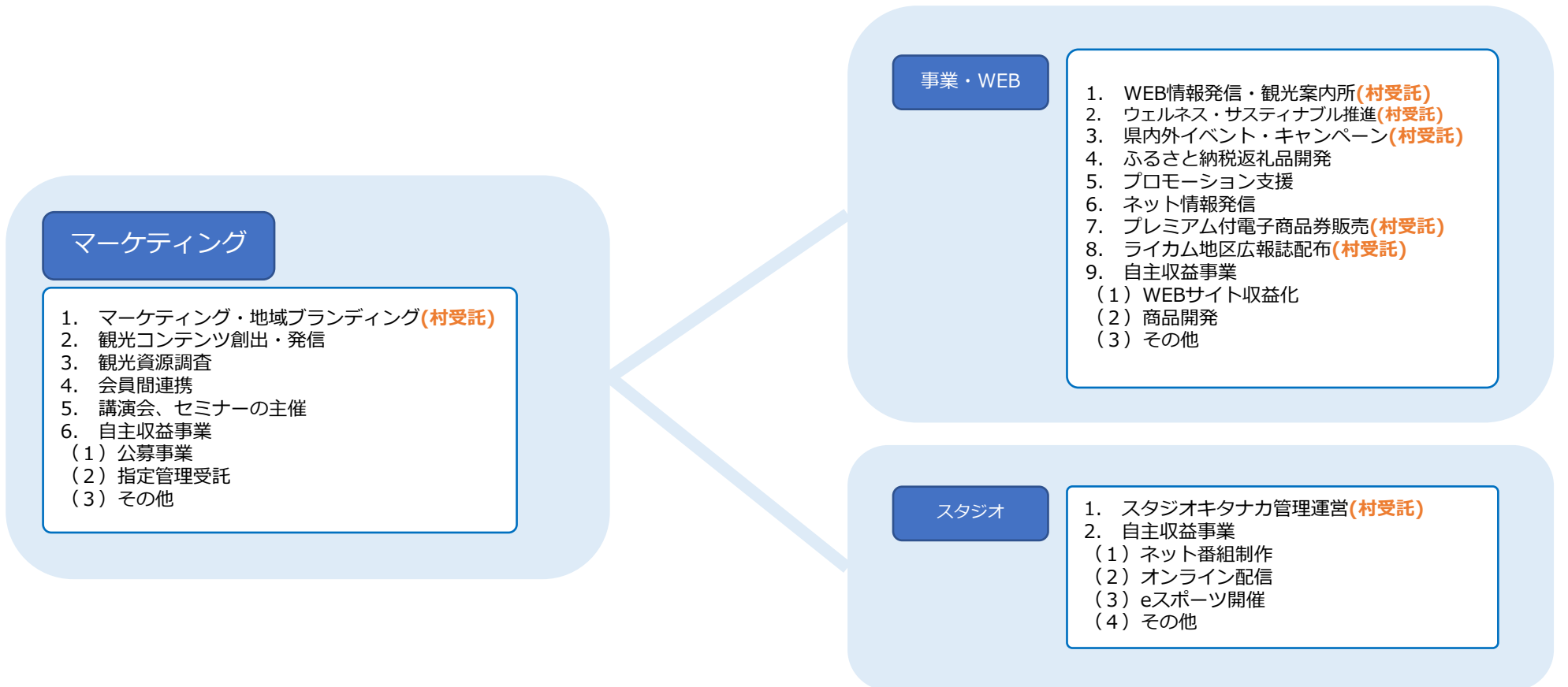
## ■ チームマネージメント（管理職）と役割

R4年度のチームマネージメントは事務局長（兼CMO）、事務局次長（兼CFO）、チーフマネージャー（CM）候補（6ヶ月～1年は候補）の3者で実施していく。事務局課長は新採用を予定。なお責務に変わりはないが「役職名」については現在検討中につき変更の可能性あり。

- |                    |             |                         |
|--------------------|-------------|-------------------------|
| 1.各事業総括            | 事務局長（兼CMO）  | 又吉 演                    |
| 2.財務・総務総括          | 事務局次長（兼CFO） | 原口 達樹                   |
| 3.マーケティング総括        | CM候補        | <b>新採用 ※マーケティング教育研修</b> |
| 4.総会・理事会・経営会議      |             |                         |
| 5.北中城村観光推進委員会      |             |                         |
| 6.DMO候補法人登録        |             |                         |
| 7.広域連携推進           |             |                         |
| 8.職員人材育成（研修等）      |             |                         |
| 9.新規事業開発           |             |                         |
| 10.ステークホルダー・マネジメント |             |                         |

# ■ チーム別事業

令和4年度はチーム性を導入。更に、どのような業務を進めるにも「**経験と勘と好み**」により行っていた細かな意思決定を**マーケティング（データと論理）**へと変えるべく、「マーケティングチーム」を主軸に、「**事業・WEBチーム**」「**スタジオチーム**」に分け、それぞれに付随した事業にあたります。



# (1) マーケティング

- 1. マーケティング・地域ブランディング (村受託)**  
 R4年度はマーケティングを基本とし観光入域客数はじめ各種観光関連データを収集、分析を行った上で、**成果・効果検証**を行い**PDCAサイクル**を構築。印刷物から極力**デジタルツール**へとシフトさせる。
- 2. 観光コンテンツ創出・発信**  
 広く浅い観光コンテンツではなく、狭く深い観光コンテンツをテーマに**観光付加価値**を創出し、発信する。
- 3. 観光資源調査**  
 改めて観光資源について調査分析し、それぞれの戦略立案を行う。
- 4. 会員間連携 (適宜)**  
 旅行商品、ふるさと納税返礼品、「旅ナカ」での情報発信等について、会員間の連携を推進する。
- 5. 講演会、セミナーの主催 (適宜)**  
 観光推進はもとより、ウェルネス、サスティナブル、マーケティング、DX等に関連する講演会、セミナーについて適宜主催する。
- 6. 自主収益事業 (適宜)**  
**(1) 公募事業 (2) 指定管理受託**等について、適宜公募への応募、指定管理受託応募、その他自主事業を実施する。



R4年度はマーケティング人材を強化



R3年度は会員間連携としてマグロパヤオ釣りや、バイク合宿免許等の商品 (返礼品) を開発

R3年は中村家住宅という観光資源の高付加価値化のためにモニタツアー等七実施

R3年度はZOOM講習会を実施

## (2-1) 事業・WEB

1. **WEB情報発信・観光案内所（村受託）**  
 WEBサイトは担当を置き、**大幅リニューアル**。観光案内所は「トラベルマートきたポ」を閉店した上で、観光協会事務所を窓口として観光協会が**年中無休**に。オンラインショップの実施。
2. **ウェルネス・サステイナブル推進（村受託）**  
 R4年度は**ウェルネス推進委員会（仮称）**の設立実施と、**ウェルネス商品開発**の推進を実施する。
3. **県内外イベント・キャンペーン（村受託）**  
 R4年度はR3年度に引き続きノベルティ制作、キャンペーン・イベントを実施するが、規模としては縮小する。
4. **ふるさと納税**  
 ふるさと納税返礼品について、商品開発やオンライン管理業務を実施する。
5. **プロモーション支援**  
 会員サービスとしてのプロモーション支援。R4年度は特にGoogleマイビジネスでの情報発信、各種SNSの活用等、マーケティングやDXの手法を使ったPRについて安価に支援する。
6. **ネット情報発信**  
**WEBに限定しない**ネットでの情報発信について、適宜行う。R4年度は情報発信について数値目標を設定し、効果的な情報発信を行う。
7. **プレミアム付電子商品券販売（村受託）**  
 R3年度に続き、プレミアム付電子商品券の販売を実施



北中城、観光情報ポータルサイト「きたポ」は大幅リニューアル予定



R3年度、「沖縄県北中城村ふるさと納税フェア」横浜駅の体験型ショールーム店舗「JRE MALL Cafe」にて開催



R3年度、北中城小学校と共同で制作した観光ノベルティグッズ

## (2-2) 事業・WEB

### 8. ライカム地区広報誌配布（村受託）

R3年度に続き、現状、自治会のないライカム地区での広報誌配布業務を受託・実施する。

### 9. 自主収益事業

R4年度以降は**自主収益について、目標数値を設定**。R4年度は1700万円（収入の約21%）を目標とする。

#### (1) WEBサイト収益化

「きたぽ」WEBサイトや各種SNS、Googleマイビジネス等のツールも活用した上で、広告収入やネットプロモーションのコンサルティング業務等も行い、収益を増やす。

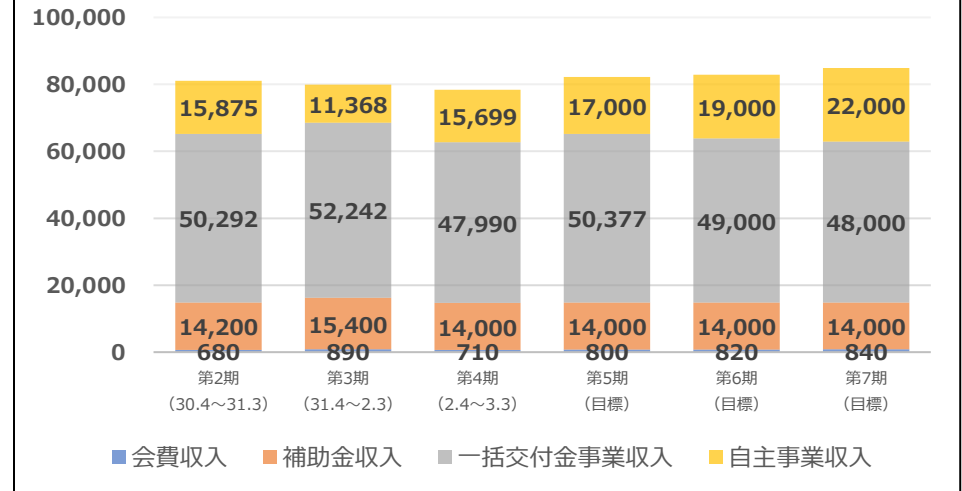
#### (2) 商品開発

ふるさと納税返礼品商品開発、旅行商品開発、スタジオキタナカのサービス商品、ウェルネス・サスティナブル関連商品の開発等を行う。

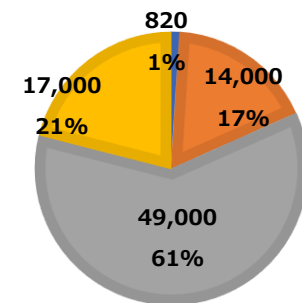
#### (3) その他

各種受託事業を実施（R3年度は保健医療福祉事業団受託、南城市観光協会事業受託等を実施した）

自主事業の目標（単位：千円）



第6期（目標）



# (3) スタジオ

## 1. スタジオキタナカ管理運営 (村受託)

R3年度に続き、スタジオキタナカの管理運用を実施し、北中城村のPRや村内事業者のDX推進を行う。  
You Tube「ライカムチャンネル」の発信・運営。

## 2. 自主収益事業

スタジオでの自主収益事業は以下のとおり

### (1) ネット番組制作

スポンサード契約によるネットの定期発信番組の制作・配信

### (2) オンライン配信

受託型のオンライン配信。貸スタジオ業務。また、ライカムチャンネルの視聴アップのための動画制作・配信。

### (3) e-スポーツ開催

e-スポーツ大会の実施。

### (4) その他

公募等を活用し、映画制作やドラマ制作等も検討する。



スタジオキタナカで実施された沖縄国際大学を拠点に活動している 伝統エイサー サークル。琉球風車 (かじまやー) や、「全国大学エイサーまつり」(同実行委員会主催) の配信の様子。



2021年10月に実施した「キタナカグスクeスポーツ選手権」はオンラインでかなりの盛況となった。参加者や関係者、オーディエンスからは第2回の開催を熱望されている。



## ■ 目標、数値目標等まとめ (前述重複あり)

- 「観光協会の通信簿」(評価アンケート)実施
- 会報誌発行(四半期1回)
- ウェルネス推進委員会(仮称)設立
- 組織内規則等の見直し、大幅改定、新設
- 職員1名の出向(研修・人材育成)R4年度以降年1名程度
- 職員研修(人材育成)仕組み作り
- ネットマーケティングサポート事業化
- スタジオ新企画 3本提案
- 地域ブランディング新企画 2本提案
- デジタルマーケティング(プロモーション支援)7施設
- ウェルネスサスティナブル新企画 1本提案
- ふるさと納税返礼品 新企画3本
- ウェルネス商品企画 2本
- 連携事業企画 2本(会員間連携1本、地域間連携1本)
- 観光地域づくり法人(DMO)登録
- eスポーツ大会の実施
- SNS発信  
Twitter、Facebook:1日1件以上  
Instagram:1週間1件以上  
You Tube:1ヶ月1件以上  
WEBサイト新規コンテンツ月1件以上  
(SNS等総フォロワー数1.5万人)